

ビルメン企業経営のこれから



interviewer

松本卓三 本誌編集委員長

本誌が5月に実施した新型コロナウイルスの影響調査によれば、「経営に悪い影響があった」と答えたビルメン経営者・管理職は81.6%にのぼり、具体的な影響として、売上の減少（74.1%）、業務の縮小・延期・中止要請（63.7%）との回答が上位を占めた。

非常事態宣言が解除された5月から6月にかけて収束するかに見えたが、世界的にも感染拡大は止まっておらず、7月以降、新規感染者数が増加傾向にあって、第2波、第3波への警戒が必要な状況だ。新型コロナウイルスの影響は長期化が必至であり、これに合わせて経済状況の悪化が長期化すれば、当然、ビルメンテナンス業界も影響は避けられないだろう。

一方で、テレワーク化の推進が進むことも予想され、働き方改革と相まって、オフィスの縮小化による不動産市場の流動化も懸念されるところである。今後、不動産およびビルメンテナンス市場はどのように変化していくのか。

本誌編集委員長の松本卓三氏がビルメンテナンス企業経営者およびビルオーナーを訪ね、変貌する業界の将来像や企業戦略について語り合う。

Contents

● 企業経営者への取材を終えて | 本誌編集委員長 松本卓三

コロナ後のビルメン業界を経営者はどう見るか
「society5.0」を見すえてビルメン経営者は発想の転換を！

● ビルメン企業経営者に聞く アフターコロナの企業戦略

① 三幸株式会社 橋本有史会長

Society 5.0とビルメンテナンス

② 東京美装興業株式会社 八木秀記社長

多様化と分散化を活かして情報を統合、独自のノウハウで全国展開へ

③ 株式会社第一ビルメンテナンス 三浦光一社長

求められる安全安心、高まる需要にオーダーメイドで応える

● ビルオーナー直撃インタビュー

東山興業株式会社 猪股徳臣社長

ビル経営から見た今後のビル清掃への期待

